（別紙3）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくワーク広場 おーぷ			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日		～	2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	24	（回答者数）	15
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		～	2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所敷地に畑や広場、卓球場、ボルタリングルームが所在し、子どもたちのニーズに応じて活動ができる。	その日のメンバーを小グループに分けて活動をしている。	施設の安全点検、施設整備
2	就労を控えた高校生や思春期に入っている中学生の利用が多く、プレワーク（就労訓練）を通して、働くということがイメージできやすい。	挨拶・報連相・掃除などの基本的作業を評価し個別ポイントで各自のモチベーションを上げている	職員によって評価の視点が違うことがあるため、マニュアルを作成し評価を統一していく
3	幅広い年代の職員が在籍しており、支援が偏らない	子どもの特性や活動内容に合わせて担当する職員を配置している	継続的に職員同士の意思疎通とチーム力強化を行っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	より支援ニーズの高い児童への専門的支援の実施が特定の職員しか対応できていない	全職員が専門的な教育を受けているわけではないこと	教材の整理整頓と支援マニュアルの作成、さらなる専門技術のスキルアップ
2	HPやSNS等を利用した情報発信がうまく機能していない	担当者が決まっていない	担当者を決め、定期的な情報発信を行い、より透明性のある活動を実施していく
3	PDCAサイクルの実施があいまいである	振り返りの実施が行われていない	ミーティング時には、必ず経過状況の報告と振り返りの時間を設けるようにする